



株式会社パスコ

2022年3月期第2四半期決算説明会

2021年11月11日

イベント概要

[企業名]	株式会社パスコ
[企業 ID]	9232
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2021 年度 第 2 四半期
[日程]	2021 年 11 月 11 日
[ページ数]	32
[時間]	11:00 – 11:30 (合計：30 分、登壇：29 分、質疑応答：1 分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 3 階 第 3 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	145 m ²
[出席人数]	
[登壇者]	2 名 代表取締役社長 島村 秀樹 (以下、島村) 取締役 (財務・IR 担当) 日根 清 (以下、日根)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

司会： それでは、定刻となりましたので、ただ今から株式会社パスコ様の 2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会を開催いたします。

最初に、当社からお迎えしております、お二方をご紹介申し上げます。代表取締役社長、島村秀樹様。

島村： 島村でございます。本日はよろしく申し上げます。

司会： 取締役、日根清様。

日根： 日根でございます。よろしく申し上げます。

司会： 本日は、ただ今ご紹介申し上げました、お二方からご説明をいただきます。ご説明いただいた後、質疑応答の時間を取らせていただきます。



サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



本日は、まず初めにパスコ様の動画を5分間、ご覧いただきます。それでは、どうぞお願いします。

映像：パスコは「地球をはかり、未来を創る」を経営ビジョンに掲げ、人と自然が共生した未来社会の構築に努めています。

社会課題の解決を目指すパスコの三つの優位性をご紹介します。

リモートセンシングとオンサイトセンシング、この二つの視点からあらゆる事象を捉え、分析・解析する技術を融合して、社会課題の解決に取り組んでいます。

リモートセンシング、遠隔の視点は、人工衛星、航空機、ドローン、計測車両、船舶などの多彩なプラットフォームに最先端のセンサーを搭載して地上の様子を捉え、オンサイトセンシング、近接の視点は、道路、自然災害、海洋、森林、河川、都市開発、上下水道、トンネルなどの現場に身を置き、実態を見て、聞いて、触ることによって社会の現状を捉えています。

これらパスコ独自の技術力を生かし、フィジカル空間とサイバー空間を連携させるデジタルツインの活用に取り組んでいます。最先端のリモートセンシング技術で現実社会を高精細に捉え、さらに人の流れ、交通データ、気象、災害などのあらゆる事象をデジタル化。サイバー空間上にリアルに再現。

そのデータの蓄積によって、過去から現在を正確に捉え、災害、物流、セキュリティ、インフラなど、さまざまなシミュレーションを行い、検証を繰り返す。その成果をフィジカル空間にフィードバックし、スマートシティやスーパーシティの実現、国土の強靱化を強力に推進しています。

それでは、企業活動の持続可能性、コーポレート・サステナビリティについてご紹介します。

パスコは企業活動の持続可能性を維持・発展させるために、ESGに配慮した経営と、空間情報事業を通じて、SDGsの幅広い目標の達成を目指します。

Environment、環境。セコムグループの一員として環境負荷低減目標の達成に努め、さらに空間情報事業を通じて脱炭素社会の実現を目指しています。

Social、社会。災害時の迅速な状況把握、復旧・復興に空間情報事業者としての専門知識を生かして社会貢献するとともに、強靱な国土の形成や維持を支援しています。

Governance、企業統治。コーポレートガバナンスを経営上の最重要課題として位置付け、法令遵守、社会倫理を尊重し、公正な商取引により、空間情報サービスの提供を行い、ステークホルダー

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



との良好な関係の維持に努めています。そして、空間情報事業を通して、SDGs の幅広い目標達成を目指しています。

社会課題の解決に取り組むパスコの事業分野を六つに分類。防災・減災、国土管理、インフラ管理、環境保全、分析・効率化、海外展開。これらの空間情報事業を通して、SDGs の幅広い目標達成を目指します。

地球をはかり、未来を創る。パスコ。

司会：引き続き、決算の説明に入ります。日根様、よろしくお願いします。

本日のプログラム

- 【1】 会社概要** 取締役 日根 清
- 【2】 連結決算の概要と業績予想**
 - ・決算概要
 - ・部門別事業概要と決算の状況
 - ・2022年3月期連結業績予想取締役 日根 清
- 【3】 中期経営計画にもとづく、事業活動の状況** 代表取締役社長 島村秀樹

© PASCO CORPORATION 4 PASCO

日根：ご紹介いただきました IR 担当取締役の日根でございます。

本日は、株式会社パスコの決算説明会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

本日のプログラムは、ここにお示しさせていただきましたとおり、最初にパスコの会社概要、次に当第2四半期の連結決算の概要と業績予想について、私より説明させていただきます。その後、中期経営計画にもとづく、事業活動の状況を代表取締役社長の島村より説明させていただきます。

サポート

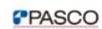
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

会社概要

会社名	株式会社パスコ
代表者	代表取締役社長 島村 秀樹
株式上場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード：9232)
事業内容	人工衛星、航空機、車両などを使って国内外の空間情報を収集 社会の課題解決の目的に合わせて加工・処理・解析を施し、 さらに必要な情報を付加した空間情報サービスを提供
連結売上高	550億円 (2021年3月期)
グループ従業員数	連結：2,783名、単体：2,236名 (2021年3月末現在)
本社	東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル
創業	1953年10月27日 (設立1949年7月15日)
主な株主	セコム株式会社

© PASCO CORPORATION

6



それでは、まずパスコの会社概要から説明させていただきます。

当社は1953年10月に創業しております。

人工衛星や航空機、車両やドローンを使って収集した空間情報を加工・処理・解析することで社会の課題解決に向けたサービスを創出し、提供することを主たる事業として展開しております。

国内外のグループ会社を合わせた連結の従業員数は、2,783名となっております。当社は本年5月6日より目黒区下目黒に移転しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



1999年8月 セコムグループ入り

信頼される安心を、社会へ。



© PASCO CORPORATION

7

PASCO

1999年8月にセコムグループの一員となり、「地理空間情報サービス事業」を担い、安心で安全な「社会システム産業」構築を共に目指しております。

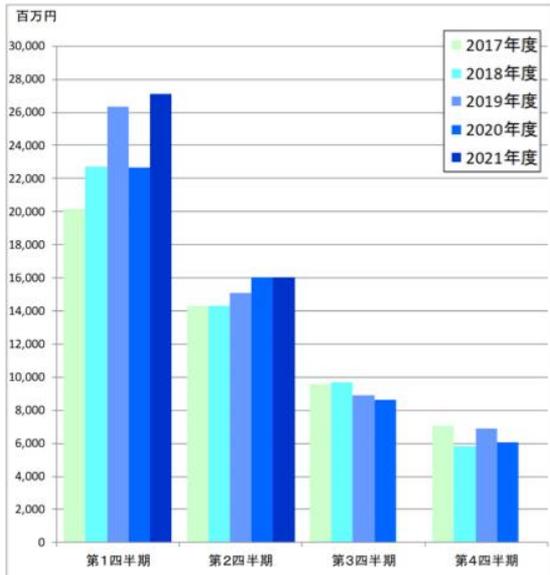
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

連結決算の四半期毎の推移

<連結> 四半期毎の受注高の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁の受注により、第1四半期に集中しております

2

売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて増加する傾向にあります

3

営業利益は、収益が年度末の納期に向けて増加することにより、上半期では赤字計上となる傾向があります

続きまして、当第2四半期の連結決算の概要と業績予想について説明させていただきます。

最初に連結決算の四半期ごとの推移ということで、受注高、売上高、営業利益の三つの推移をグラフでご覧いただきたいと思います。

左から第1四半期、4月から6月、第2四半期、7月から9月、第3四半期が10月から12月、最後、第4四半期が1月から3月の、それぞれの小計を比較しております。それぞれ、過去4期からの推移を色分けして表示しております。新しいものほど濃くなっている、そういうふうにご覧いただければと思います。

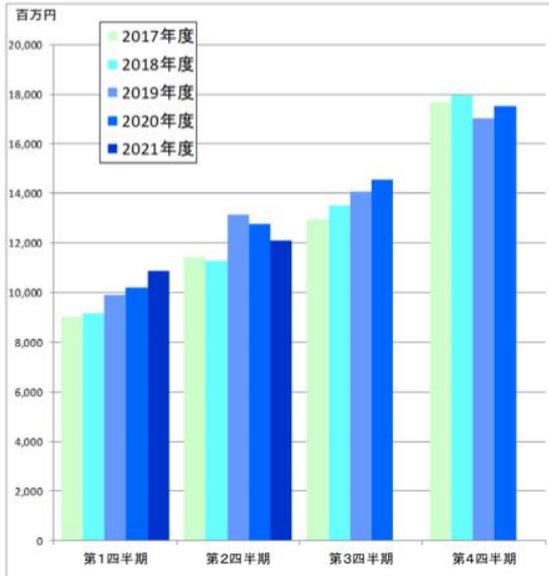
一つ目の、まず受注高ですけれども、当社の主要顧客は官公庁であることから、ご覧のとおり、ほぼ全ての受注が第1四半期に集中しております。当第1四半期が特に大きく伸びていることが見て取れるかと存じます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結決算の四半期毎の推移

<連結> 四半期毎の売上高の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁の受注により、第1四半期に集中しております

2

売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて増加する傾向にあります

3

営業利益は、収益が年度末の納期に向けて増加することにより、上半期では赤字計上となる傾向があります

続きまして二つ目、売上高となります。

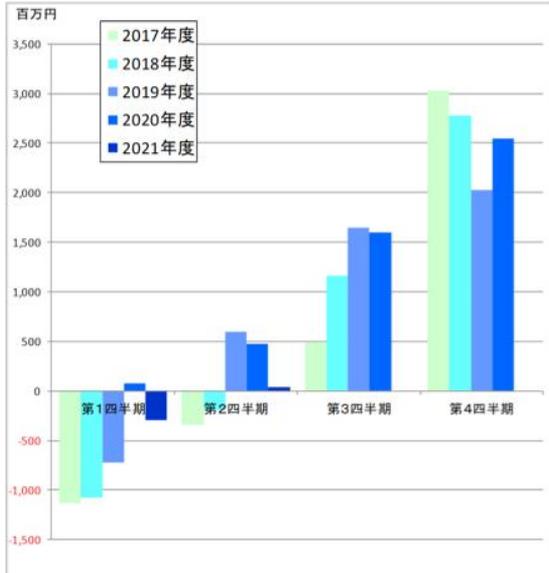
こちらにつきましては、当社の主要顧客である官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて増加する傾向となります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

連結決算の四半期毎の推移

<連結> 四半期毎の営業利益の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁の受注により、第1四半期に集中しております

2

売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4半期に向けて増加する傾向にあります

3

営業利益は、収益が年度末の納期に向けて増加することにより、上半期では赤字計上となる傾向があります

三つ目、これは営業利益ですけれども、収益が年度末の納期に向けて増加することから、上半期では赤字計上となる傾向がございます。

これは収益が少ない上半期では、固定費などを吸収できない、そういった傾向になるということがございます。

なお、前々期、前期の上半期には、後ほどご説明いたしますが、大型案件などの特殊要素が含まれておりまして、当期の上半期は利益が減少しておりますが、そういった特殊要素を除きますと、年々改善傾向になってきております。

連結決算の概要

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	前期 2021年3月期 第2四半期連結累計期間	当期 2022年3月期 第2四半期連結累計期間	増減
売上高	22,969	22,964	-4
売上原価 (売上原価率)	17,700	17,965	264
売上総利益 (売上総利益率)	5,268	4,999	-269
販売費及び 一般管理費	4,708	5,250	542
営業損益	560	-251	-811
経常損益	492	-267	-760
親会社株主に帰属する 四半期純損益	249	-225	-475

前期に海外部門で大型案件の完了に伴う収益計上、および同案件の工事損失引当金の戻入れが発生したことによる反動減を含んでおります
(影響額：売上高▲8.5億円 売上総利益▲4.7億円)

本社移転に伴う費用計上、営業人員増加に伴う人件費増により増加しております

上記の前期の大型案件の反動減および本社移転に伴う費用計上等により第2四半期決算においては、欠損計上となりました。

前期の欧州子会社の株式売却損による特別損失を計上したことの反動増含む

© PASCO CORPORATION

12

PASCO

売上高は前期とほぼ同額となる229億6,400万円、営業利益は前期5億6,000万円の利益計上に対し2億5,100万円の欠損計上、経常利益は前期4億9,200万円の利益計上に対し2億6,700万円の欠損計上、当期純利益は前期2億4,900万円の利益計上に対し2億2,500万円の欠損計上となっております。

こちらは、前期に海外部門で大型案件の完了に伴う収益計上がございました。さらに、それに伴う引当金の戻し入れといったものが発生しておりまして、その反動減ということがございます。

ちなみに、こちらの影響額は売上高で約8億5,000万円、営業利益では4億7,000万円の影響がございました。また、当期は本社移転に伴う費用計上のほか、営業人員増に伴う人件費増などもあり、営業利益以降も前期比減少し、第2四半期におきましては欠損計上となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

部門別 決算概要

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2022年3月期第2四半期連結累計期間				受注残高	
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	残高	前年同期比
国内部門	42,086	+11.2%	22,235	+3.1%	40,337	+6.6%
(公共)	39,078	+11.2%	19,237	+1.9%	34,475	+9.3%
(民間)	3,007	+11.6%	2,997	+11.4%	5,861	-6.7%
海外部門	1,088	+28.9%	729	-47.7%	1,176	+23.0%
合計	43,174	+11.6%	22,964	-0.0%	41,513	+7.0%

© PASCO CORPORATION

13

PASCO

次に受注高、受注残高について説明させていただきます。

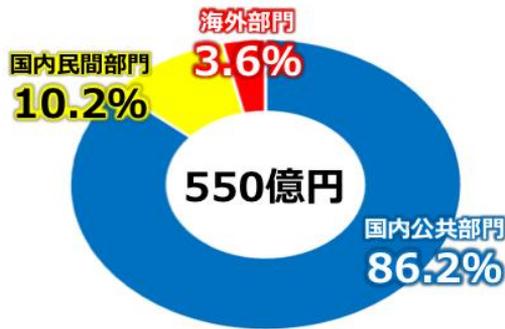
ご覧の表の左から2列が受注高を記載しております。一番下の合計でご覧いただくと11.6%増、44億9,400万の増加となっております。右から2列、こちらが受注残高を記載しております。こちらも前年比7.0%増、27億500万の増加となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
 Asia's Meetings, Globally

部門別事業概要と決算の状況



売上構成比：2021年3月期の実績より

国内公共部門

行政機関を顧客とする空間情報事業

- 行政業務の効率化支援
- 固定資産税評価関連業務
- 道路、上下水道などのインフラ維持管理業務
- 都市計画・防災計画の策定業務
- 住民サービスの向上と地方財政の健全化支援など

国内民間部門

民間企業を顧客とする空間情報事業

- 物流の効率化支援
- 企業の自然災害対策支援、BCP策定支援
- 出店計画や商圈分析などのエリアマーケティング支援
- 営業行為の効率化支援など

海外部門

世界で展開する空間情報事業

- 国土空間データ基盤整備（航空撮影、地図整備等）
- 環境保全・災害対策
- 道路維持管理
- 海外子会社における測量・GIS関連事業など

では、部門別の状況について説明させていただきます。

当社では国内の公共・民間と海外の三つの部門に分けて開示しております。

売上の約86%を占める国内公共部門は国や地方公共団体をお客様に、各種法令に基づく行政業務を支援しております。年度ごとの新たな方針による予算配分に影響を受けるものの、多くの行政業務は空間情報技術を必要としているため、安定的な事業領域となっております。

次に、売上の約10%を占める国内民間部門は、国内民間企業をお客様に、物流の効率化や市場分析などの空間情報サービスを提供しております。

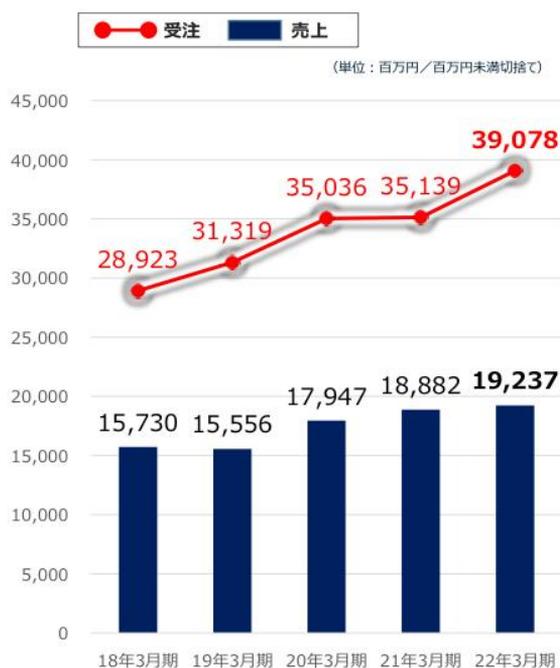
最後に、売上の約3%を占める海外部門は、ASEAN地域を中心に、開発途上国支援業務などを担っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



国内公共部門



受注高	39,078百万円	(11.2%増)
------------	------------------	-----------------

売上高	19,237百万円	(1.9%増)
------------	------------------	----------------

1 政府主導の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」がスタート

2 3次元データの活用による行政業務のDX化が推進

3 3次元データの計測業務やリスク分析、管理・対策の強化など

まず、国内公共部門の状況をご説明いたします。

政府が主導する、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が、前期までの3カ年計画に続き、今期より新たにスタートしております。

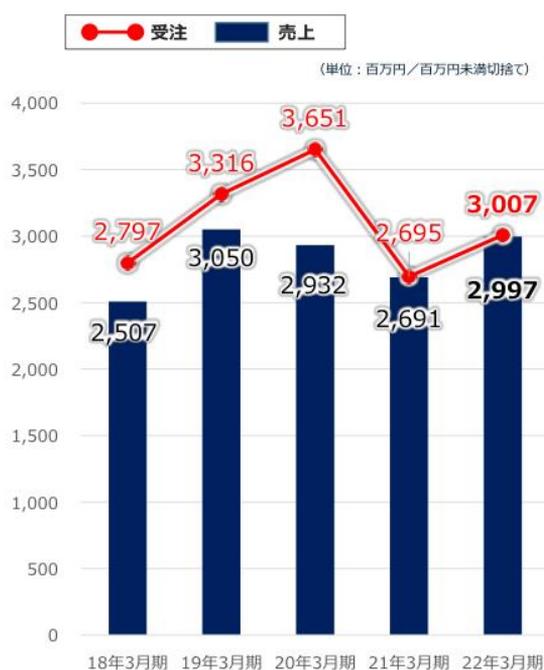
また、行政業務のDX化も主導しており、特に3次元データの活用ニーズが高まっております。このような中、河川や砂防、大規模造成地を中心に、森林などを含む各分野で3次元データの計測業務やリスク分析、管理・対策の強化などの3次元データ活用業務が堅調に推移しました。

その結果、受注高は前期比11.2%増の390億7,800万円、売上高は前期比1.9%増の192億3,700万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

国内民間部門



受注高	3,007百万円	(11.6%増)
売上高	2,997百万円	(11.4%増)

1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が残るものの、復調の兆し

2 物流・不動産業界向けクラウドサービスが堅調に推移

3 一般道の高精度3次元道路地図データの整備業務が始動

次に国内民間部門の状況をご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が残るものの、復調の兆しが見えております。

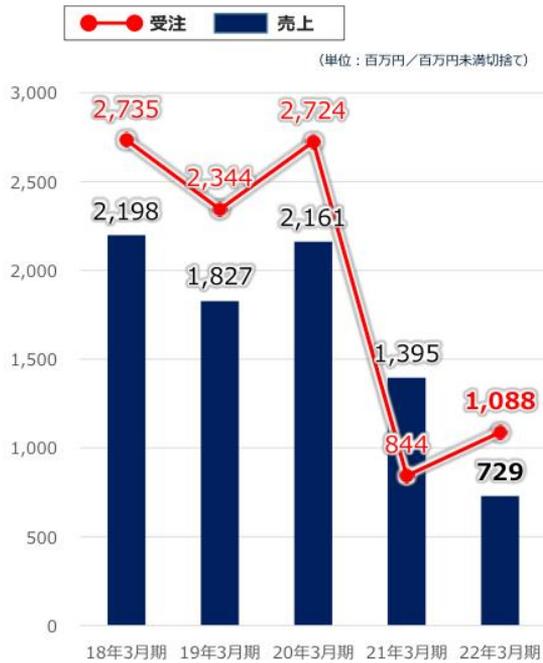
具体的には、物流業界向けソリューションのほか、不動産業界向けクラウドサービスが堅調に推移しました。このほか、一般道の自動走行向け高精度3次元道路地図データの構築が始動し、3次元計測業務の需要が高まっております。

その結果、受注高は前期比11.6%増の30億700万円、売上高は前期比11.4%増の29億9,700万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

海外部門



受注高	1,088百万円	(28.9%増)
売上高	729百万円	(47.7%減)

1 前期に大型案件の完了に伴う売上計上したための反動減

2 JICA 案件については調査業務等により受注・売上ともに若干増加傾向

3 ASEAN 諸国の子会社事業はコロナ影響により低調ながらも復調兆し

海外部門の状況を説明します。

前期に大型案件の完了に伴う売上高の計上がございました。この影響額はマイナス 8 億 5,000 万円となります。

そのほか、JICA 案件につきましては、調査業務等が増加したことから、受注高・売上高ともに若干ながら増加傾向となっております。

ASEAN 地域に所在する海外子会社事業につきましては、前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けておりますが、復調の兆しも見えております。

その結果、受注高は前期比 28.9%増の 10 億 8,800 万となりましたが、売上高は前期の大型案件の完成に伴う売上計上の影響により、前期比 47.7%減の 7 億 2,900 万となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2022年3月期連結業績予想

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

	2021年3月期実績	2022年3月期予想値	前期比増減	
売上高	55,029	54,800	-229	-0.4 %
営業利益	4,699	4,000	-699	-14.9 %
経常利益	4,644	4,000	-644	-13.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,258	2,500	-758	-23.3 %
年間配当金 (1株あたり)	35円	35円	—	—

業績予想に対する解説

- 1) コロナ禍の影響で受注残が減少するなど、前期ほどの極端な追い風は期待できない
- 2) これまでの戦略的投資を回収ステージへ転換すべく、より実行性を高める取り組みへ
- 3) さらなる生産性向上により、中計で掲げる営業利益40億円を1年前倒しで挑戦する

© PASCO CORPORATION

18

PASCO

2022年3月期の連結業績予想については、当初計画から変更はしていません。

売上高 548 億円、営業利益 40 億円、経常利益 40 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 25 億円と予想しております。

本予想となる要因としましては、コロナ禍の影響で期首の受注残高が減少していたことなどから、前期ほどの極端な追い風は期待できないことが挙げられておりました。

しかし、これまでの戦略的投資を回収ステージへ転換すべく、より実行性を高めた、さらなる生産性向上により、中期経営計画に掲げる営業利益 40 億円を 1 年前倒しで挑戦したいと考えております。

なお、年間配当金につきましては、1 株当たり 35 円を予定しております。

この後、事業活動の状況と中期経営計画の達成に向けた施策について、代表取締役社長の島村より説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

パスコグループ中期経営計画 2018-2022

持続的な企業成長に向けた利益体質への変革

〈目標〉

2022年度 グループ連結営業利益額を倍増
(2017年度のグループ連結営業利益額20億円から40億円に)

〈方針〉

データ流通社会の到来に向けた事業戦略の転換

空間情報の可視化・分析・流通を中心とした新たなサービスモデルへの事業シフト
継続契約型ビジネスと業務請負型ビジネスとの両輪による事業展開

新たな空間情報の活用を見据えた将来への投資

AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等の
次世代ツールの導入による自動化、高度化の実現

島村：代表取締役社長の島村でございます。この後は私から説明させていただきます。

まず、当期で4年目となる中期経営計画の概要と計画についてご説明いたします。次に、計画に基づく事業活動の状況についてご報告させていただきます。

2018年に「持続的な企業成長に向けた利益体質への変革」を掲げ、目標5か年で連結営業利益額を倍増させることと決めました。つまり、2017年度20億円だった営業利益を2022年度の来期には40億円にまで引き上げることを目標としているものでございます。

この目標のために定めた方針は、ここに示す2点になります。一つ目は「データ流通社会の到来に向けた事業戦略の転換」、そして二つ目は、「新たな空間情報の活用を見据えた将来への投資」でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」の骨子

1	ビジネスモデルの転換	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共・民間・海外・衛星事業ドメインの相互連携による新たな事業展開 ② 既存事業の商品やサービスのさらなる深化 ③ 継続契約型ビジネスのさらなる加速化
2	新たな事業領域への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦 ② 付加価値サービスの提供 ③ オープンデータ化にともなう新たな官民連携モデルの創出
3	技術の革新と継承	<ul style="list-style-type: none"> ① 高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦 ② AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等による技術革新 ③ イノベーション人材・グローバル人材の育成
4	経営基盤の強化と企業価値の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 働き方改革の推進 ② 財務体質の強化 ③ 社会や地域への空間情報サービスの提供

中期経営計画の骨子について改めて説明いたします。

中期経営計画では、目標達成に向けて、この表の左の欄に示しますように、取り組むべき四つの課題をテーマとして挙げております。また、それぞれのテーマに対して具体的な取り組み方針を設定して現在、進めているところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2022年3月期 〈4つの重点ポイント〉

1	ビジネスモデル の転換	公共・民間・海外・衛星事業ドメインの 相互連携による新たな事業展開
2	新たな事業領域 への挑戦	事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦
3	技術の 革新と継承	高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦
4	経営基盤の強化と 企業価値の向上	働き方改革の推進

今期の具体的な取り組み方針は、この表の赤字で示したとおりでございます。

一つ目のビジネスモデルの転換では、公共・民間・海外・衛星事業ドメインの相互連携による新たな事業展開でございます。

二つ目の新たな事業領域への挑戦では、事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦でございます。

三つ目の技術の革新と継承では、高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦です。

四つ目の経営基盤の強化と企業価値の向上では、働き方改革の推進でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

ASEAN市場と衛星活用

- ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国に向けて
道路管理や災害・環境対策など、国内で培った空間情報技術の
活用ノウハウを生かした課題解決を推進しています。

- 世界市場に向けて
今期打ち上げ予定の
先進光学衛星「ALOS-3」
の販売網整備を進めています。

▶ 動画でご紹介（1分20秒）

パスコの新たな挑戦が始まる

それでは、中期経営計画に基づく事業活動の状況についてご報告いたします。

最初に公共・民間・海外・衛星事業ドメインの相互連携による新たな事業展開に関わる取り組みをご紹介します。

まず、ASEAN 諸国向けには、当社が国内で実績のある道路管理や災害・環境対策分野でのソリューションを推進しております。

また、世界市場に向けては今期打ち上げ予定の国産の光学衛星、ALOS-3 のデータ販売やソリューションの提供を考えています。そのために現在、販売網の整備を進めているところでございます。

ここで ALOS-3 の紹介動画を用意しましたので、ご覧ください。

映像：パスコの新しい挑戦が始まります。

打ち上げが近づく JAXA の地球観測衛星、ALOS-3。民間事業者として ALOS-3 事業に参画し、地上システム開発、衛星運用、データ販売を実施します。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

ALOS-3は80センチメートルの高分解能と70キロメートルの広域観測を両立させた世界でも類を見ない光学センサーを搭載。地球の陸域全域を網羅的に観測し、これまでにない高分解能のグローバルビッグデータをつくり上げていきます。

衛星直下を観測した、ゆがみが少ない画像は地物抽出や変化抽出などの解析処理に適しており、さまざまな情報と組み合わせて解析されることで、さらなる付加価値情報を生み出します。

さまざまな分野での利用が期待されるALOS-3。このALOS-3事業を通じて、世界中のユーザーやパートナーと共に、社会問題の解決に貢献していきます。

【2】事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦

ドローンを活用した公共インフラ巡回監視の自動化・省力化

セコムとの共想!

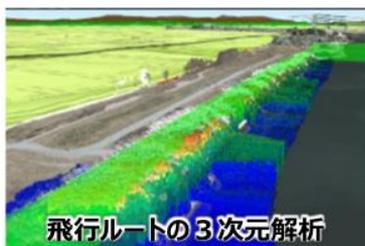
新たなビジネスモデル創出に向けて

自律飛行ドローンと3次元空間情報を融合させ、
公共インフラ巡回監視の自動化・省力化を目指す

給排水施設付近を飛行するドローン

期間：2021年8月上旬から9月中旬（現地実証実験：8月18日）

場所：埼玉県杉戸県土整備事務所管内 権現堂調節池



© PASCO CORPORATION

25

PASCO

島村：続きまして、事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦に関わる活動の状況です。

今年8月にセコムとの共想による実証実験を開始しました。人手に頼っていたインフラ施設の監視業務をセコムの自律飛行ドローンを活用して自動化・省力化できないかという取り組みでございます。

埼玉県の整備事務所のご協力を得て、3次元データを使ったドローンの安全な飛行ルートの設計と、それをもとに実際の現場でドローンによる自動監視の検証を行いました。今後はさらに実績を重ね、ドローンによるインフラの自動監視のサービス化を図りたいと考えております。

サポート

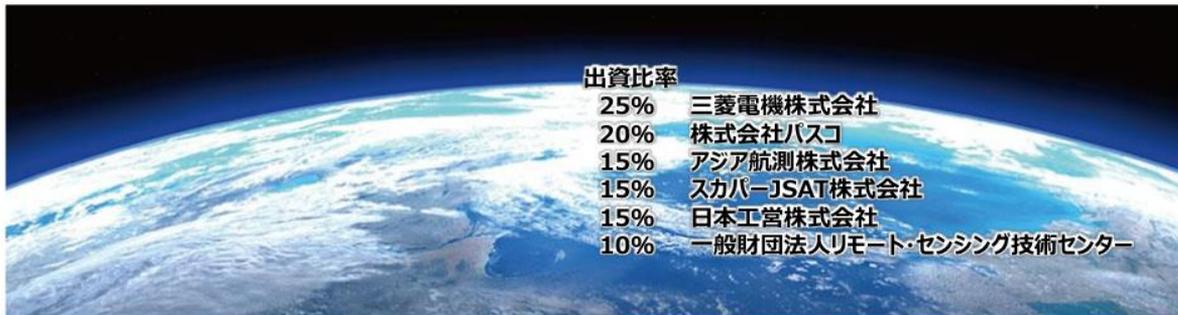
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

【2】事業の開拓や創発による新領域や新事業への挑戦

衛星データサービス企画株式会社 2021年6月16日設立

より身近で、
使いやすい衛星データの提供を目指した
ビジネスモデルを構築し、
実利用の普及を目指すとともに、
災害対策・国土強靱化や
地球規模の課題の解決に貢献していきます。



© PASCO CORPORATION

26

PASCO

こちらは衛星データサービス企画会社の設立に関するものです。

今年の4月に報道発表させていただきましたが、6月16日に正式に設立しました。

先ほどご報告したALOS-3の利活用を含めて、日本における衛星データビジネスの普及と促進を目指しております。20%の出資比率を担う当社は、本会社の活動を積極的に主導しております。なお、本会社は2年間の事業企画の期間を経て、事業化への判断をする予定にしております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

【3】高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦

ドローン搭載型グリーンレーザースキャナの新バージョンを販売開始

新バージョンを2021年8月から販売開始

陸上部と水中部の3次元座標を同時に計測

航空機に比べ飛行高度が低いため、局所的に高密度な3次元地形を面的に計測

【性能向上】

測深性能を従来機より10%程度向上
少雨に対する機器の保護対策を強化

【リアルタイム】

フライト中に計測状況をリアルタイムに確認

【純国産】

国内で設計・開発・組立を行った純国産システム



▶動画で紹介（1分20秒）

© PASCO CORPORATION

27

PASCO

続きまして、高頻度・高精度な空間処理情報技術への挑戦に関わる活動の状況です。

2019年4月から提供を開始したドローン搭載型グリーンレーザースキャナですが、今年8月から新バージョンの販売を開始しました。ドローンに搭載したグリーンレーザーから地上部に加え、水中部の3次元座標を同時に計測できるものです。

今回の新バージョンでは、測深性能が10%向上したことに加え、純国産のシステムで、さらにリアルタイムで計測状況を確認できるようになりました。本システムの紹介動画を準備しましたので、ご覧ください。

映像：水面下の地形を上空から測れたら、これが私たちの望みでした。

そんな私たちの望みをかなえるドローン搭載型のグリーンレーザースキャナ、TDOT GREENが2019年4月に登場。地上と水底の地形をドローンから一度に3次元計測できるシステムです。活用分野の一つである河川分野での利用シーンについてご紹介します。

堤防から河川敷、河道を一度に計測し、3次元モデルの作成が可能です。水陸がつながった画期的な3次元モデルは河川の維持・管理や河川災害を軽減するための河道状況の把握に役立つ情報として利用できます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

続いて、浅海分野での利用シーンについてご紹介します。ドローンの特性を生かして、堤防や離岸堤、消波ブロックなど、港湾管理における緻密な計測が可能です。また、計量船が進入できない浅瀬や岩礁エリアなどの水中地形と陸部を上空から一度に計測し、詳細な3次元モデルを作成できます。

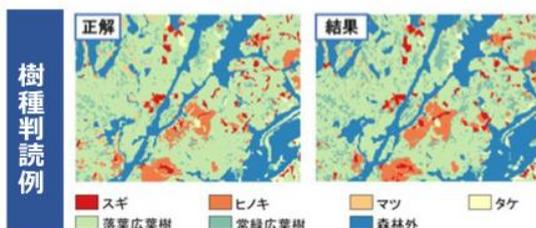
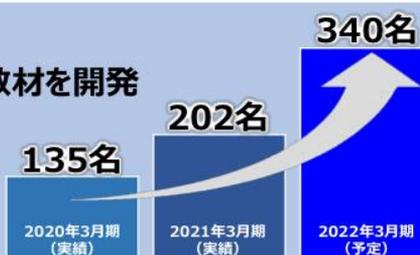
【3】 高頻度・高精度な空間情報処理技術への挑戦

AI人材の育成

**AI技術者の育成により、業務の効率化・高度化を図る
新しい時代の“働き方”と“新事業”を創出**

東京大学エドテック連携研究機構と連携して、
空間情報事業に有効なAI技術者育成プログラムと教材を開発

- 1) 機械学習実践演習
- 2) AI中堅技術者講習
- 3) 実践的なトレーニング



© PASCO CORPORATION

28 PASCO

島村：こちらは3年前から取り組むAI人材の育成です。

先ほど説明した計測技術の向上に加えて、そこで取得するビッグデータを解析する人材の育成も同時に進めております。今期、その対象者を340名に拡大し、業務の効率化・高度化に取り組んでおります。

実際にAI技術を活用した分野をここでご紹介いたします。左下の事例は、従来、人間の目により判読している森林の樹種のAI判読結果です。

また、右下の事例は、当社の主要業務である固定資産税業務で利用しているAIによる家屋の新築や減失などの判読結果でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

【4】働き方改革の推進

ニューノーマル時代への適応

人事制度改革

- ① 社員それぞれのライフスタイルに合ったさまざまな働き方への対応
- ② 個々人のスキル・モチベーションをアップする組織環境づくり
- ③ 将来を担う人材（しなやかマインド人材）の育成のための評価制度

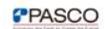
本社移転

- ① 都内7か所に分散していた各部門を目黒区下目黒に集約
- ② シナジー効果の増大と意思決定の迅速化を図る
- ③ 「ニューノーマル」を前提とした新たな働き方へ対応（座席数3割減）



© PASCO CORPORATION

29



続きまして、働き方改革の推進に関わる活動の状況です。

現在、多様な働き方への対応や将来を担う、しなやかマインドの人材育成を目指して、人事制度の改革を進めています。

また、今年5月から本社を目黒区下目黒のパスコ目黒さくらビルに移転し、新たな環境で事業を開始いたしました。これは、都内7カ所に分散している事業所を集約することで、管理の効率化などのシナジー効果と意思決定の迅速化を狙ったものでございます。

さらに、リモート環境での業務が当たり前になった、ニューノーマル時代への対応として、在籍社員数に対して座席数は7割まで減らしております。一方、自由に議論できる場所、フリースペースを数多く準備いたしました。

サポート

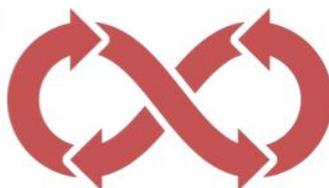
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



コーポレート・サステナビリティ（企業活動の持続可能性）

パスコは、
企業活動の持続可能性を維持・発展させるために、
企業の社会的責任（CSR）を包含した“ESG”に配慮した経営を。

そして、空間情報事業を通じて
“SDGs”の幅広い目標の達成を目指します。



そこで、今期新たに整理した企業活動の持続可能性、コーポレート・サステナビリティに関する活動の状況をご報告いたします。

当社は企業活動の持続可能性を維持・発展させるために企業の社会的責任（CSR）を包含したESGに配慮した経営を行い、そして空間情報事業を通してSDGsの幅広い目標の達成を目指しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

セコムグループが「SBT」認定を取得し、「RE100」に加盟

— 2045年までに再生可能エネルギー100%利用を実現 —

パスコグループは、セコムグループの一員として目標達成に努めます

温室効果ガス削減目標

■ 温室効果ガス排出（スコープ1+2）について

2045年までに排出ゼロ

2030年度までに2018年度比で45%削減

■ 温室効果ガス排出（スコープ3）について

2050年までに排出ゼロ

2030年度までに2018年度比40%削減



RE100

CLIMATE
GROUP

SBT (Science Based Targets) : 国際的気候変動イニシアチブ「SBTi (Science Based Targets initiative)」の認証
 RE100 (Renewable Electricity 100%) : 国際的環境イニシアチブ

今年7月に、セコムグループでは SBT 認定を取得し、RE100 に加盟いたしました。

これを受け、パスコグループではセコムグループの一員として、ここに掲げる目標の達成に向け、グループ一丸となって活動を進めることにいたしました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2021年4月 環境大臣表彰を受賞

— 大規模自然災害等の被災地域支援活動に対する災害対応支援 —

令和元年と令和2年の大規模自然災害において支援活動を行った団体等に対し、その活動をたたえるもので、当社は令和元年の台風災害、令和2年の7月豪雨災害における廃棄物処理に関する貢献として表彰されました。



こちらにご紹介する賞状は、今年3月に受賞した環境大臣表彰の内容です。

令和元年と令和2年に発生した大規模自然災害における当社の支援活動が評価されてものでございます。これは、被災状況の迅速な把握を目的とした緊急撮影の成果を使って、災害廃棄物処理に貢献したものでございます。

2021年7月

梅雨前線に伴う豪雨災害に関する緊急撮影



静岡県熱海市伊豆山付近 (7月6日撮影)

佐賀県大町町付近 (8月15日撮影)



2021年8月

前線に伴う大雨災害に関する緊急撮影

また、こちらにご紹介する写真は、今年の夏に発生した豪雨災害における緊急撮影成果の一部でございます。

左の図は7月の豪雨災害で静岡県熱海市の伊豆山付近の土砂災害の様子です。また、右の図は、8月の大雨による河川氾濫の様子です。場所は佐賀県大町町付近の写真になります。

このように当社では、大規模な自然災害の発生の都度、災害復旧や復興、二次災害の防止に役立てていただくことを目的に、災害緊急撮影を実施し、広く社会に提供しております。

最後になりましたが、パスコグループは持続的な企業成長に向けて利益体質への変革に真剣に取り組んでまいります。引き続き、ご指導、ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

以上で、私からの説明を終了いたします。ご清聴ありがとうございました。

司会：ありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

質疑応答

司会：それでは、質疑応答に入らせていただきます。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。従いまして、質問される際、会社名、氏名を名乗っていただいた場合は、そのまま公開されます。もし匿名を希望される場合は、氏名は省略していただいて結構です。

それでは、ご質問、特にないようでございます。会長様から、もし何か追加事項がございましたら、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、本日の決算説明会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

